

土砂災害に備えて

■土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」(以下「土砂災害防止法」とする)に基づき、山口県が土砂災害危険箇所を対象に基礎調査を行い、指定された「土砂災害警戒区域等」を表示しています。

土砂災害警戒区域

対象区域

土砂災害のおそれがある区域
指定後は？

- ・警戒避難に関する事項の住民への周知
- ・情報伝達、警戒避難体制の整備

土砂災害特別警戒区域

対象区域

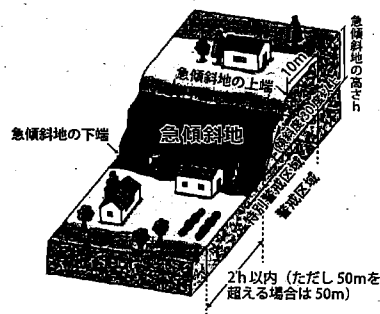
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある地域

指定後は？

- ・特定の開発行為に関する許可制 (住宅地分譲、社会福祉施設等)
- ・建築物の構造規制
- ・移転の勧告

急傾斜地の崩壊

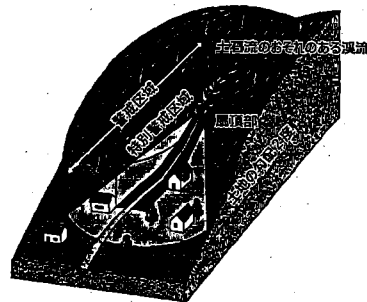
地震などの影響によって急激に斜面が崩れる現象。



- ① 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- ② 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- ③ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

土石流

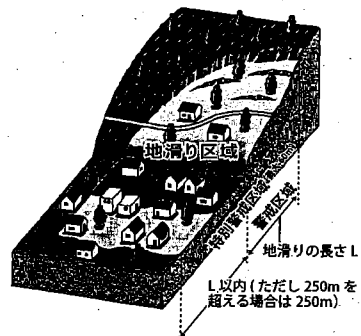
土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れる現象。



- ① 土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

地すべり

地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。



- ① 地すべり区域 (地すべりしている区域または地すべりするおそれのある区域)
- ② 地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに対応する距離(250mを超える場合は、250m)の範囲内の区域

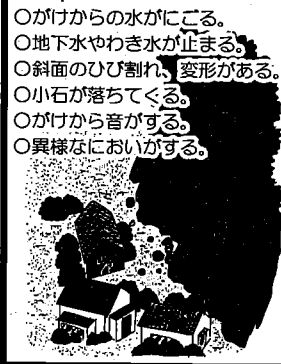
■土砂災害の前兆について

通報先 → 総務課危機管理室：0836-82-1122

長雨や大雨、または地震が発生した時などに次のような現象を確認したら、早めに避難し、公共の防災機関に通報しましょう。

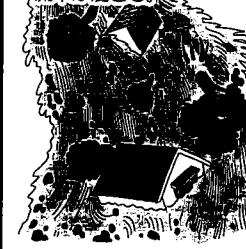
急傾斜地の崩壊

- がけからの水がにごる。
- 地下水やわき水が止まる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がある。
- 異様なにおいがする。



土石流

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
- 川の水がにごったり、流木が混ざる。



地すべり

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水がふき出す。
- 家やよう壁に亀裂が入る。
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く。



■大雨降雨時の避難



土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20mm以上又は降り始めから100mm以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

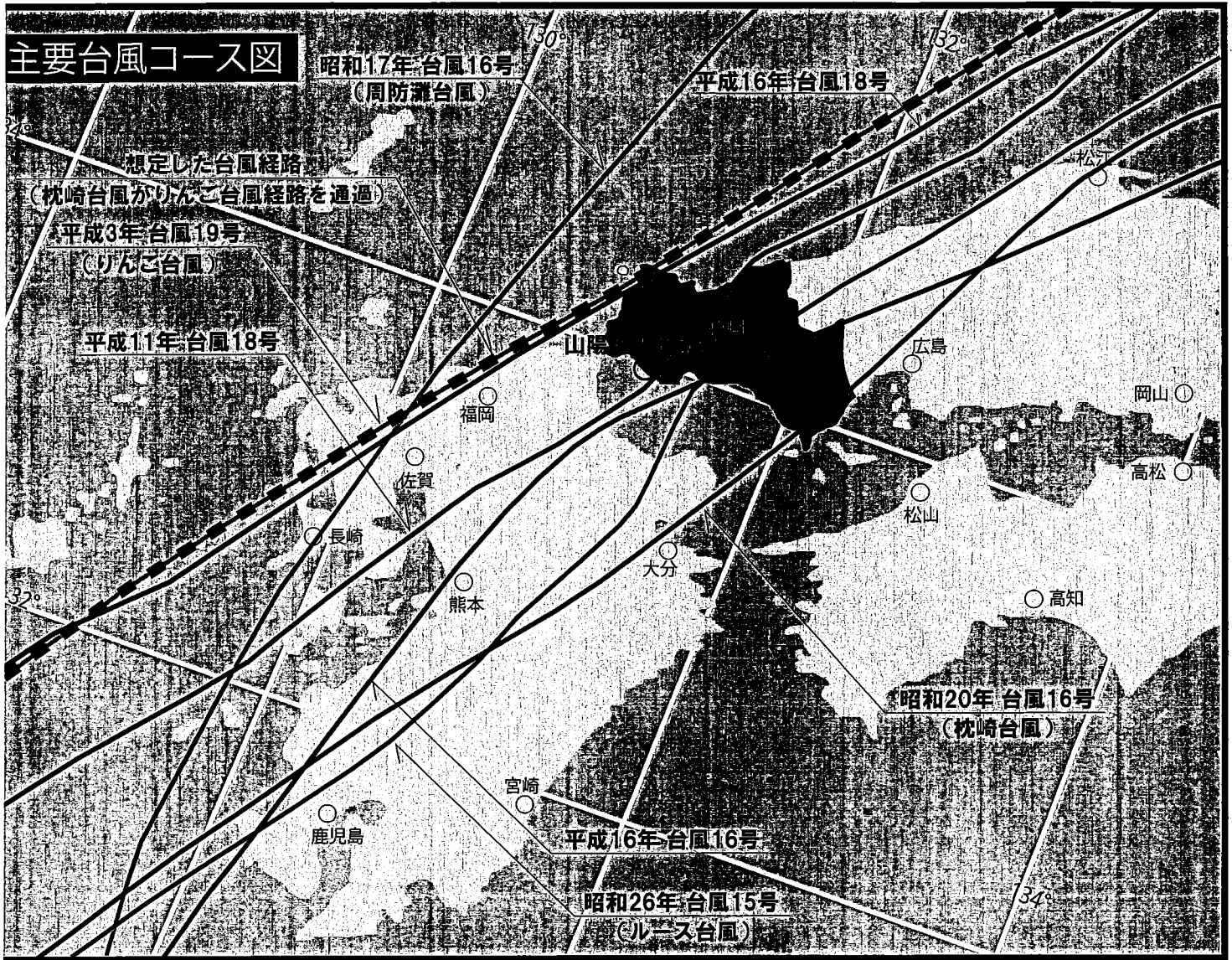


土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

■雨の降り方の程度 (特に1時間20mm以上、連続100mm以上等には注意が必要です。)



- (1時間に10~20mm未満の雨) ザーザーと降ります。地面からの跳ね返りで足元が濡れます。この程度の雨でも長く続く時は、注意が必要です。
- (1時間に20~30mm未満の雨) どしゃ降りです。傘をさしても濡れます。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。
- (1時間に30~50mm未満の雨) バケツをひっくり返したように降ります。道路が川のようになります。山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。
- (1時間に50~80mm未満の雨) 滝のように降ります。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界は悪くなります。土石流が起きやすく、多くの災害が発生します。
- (1時間に80mm以上の雨) 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害の発生のおそれが強く、厳重な警戒が必要です。



※台風が九州付近に接近し、南～南東の強風が吹くと、高潮になる危険性があります。さらに、山陽小野田市の西側を台風が通過すると、台風の進むスピードと風のスピードが重なって、高潮が大きくなる傾向があるので注意が必要です。



台風18号による郡津布田海岸の高潮被災状況
(平成11年9月24日)